

(様式例)

令和6年度 技術・家庭科 授業改善推進プラン

大田区立蓮沼中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・題材と自分自身の生活を関連付けて考える機会を設けたことで、主体的に取り組む態度が見られる生徒が増加した。
- ・知識の定着は、概ね図ることができている。

(2) 課題

- ・情報や知識をもとに、論理的に自分の考えを深めて表現することが苦手な生徒が多い。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和6年度結果	令和5年度結果	令和4年度結果
第1学年	実施なし	実施なし	実施なし
第2学年	実施なし	実施なし	実施なし
第3学年	実施なし	実施なし	実施なし

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
小学校での既習事項と関連付け、知識を身に付けることができている。技能は、個人差がある。	題材と自分自身の生活を関連付け、論理的により深く考えて表現することに課題がある。	自分で立てた見通しをもとに、課題に対して主体的に取り組むことができる。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ものづくりに関する技能は、基礎基本から確認し、実践する必要がある。	題材と自分自身の生活との関連について理解しているが、論理的により深く考えて表現することに課題がある。	実生活での経験・実践が不足しているが、ものづくりに関しては、主体的に取り組むことができる。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知識は、概ね身につけることができているが、生活に生かすことまではできていない。技能は、個人差がある。	題材と自分自身の生活との関連について理解しているが、論理的により深く考えて表現することに課題がある	ものづくりに関して、自ら進んで取り組むことができるが、見通しをもって取り組むことに課題がある。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ICT 機器を活用し、自分に合った方法で知識を身につけられるようにする。技能は、小学校での既習事項をもとに基礎・基本を定着させる。	生活の中での課題を見つけ、解決できるように、多面的に考えることができる機会を設ける。	自分の生活と関連付け、一人ひとりが見通しをもって粘り強く学習に取り組むことができるようにする。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ものづくりなど様々な実習を繰り返し実施し、基礎・基本的な知識・技能を身につけさせる。	生徒自身の生活を振り返り、身につけた知識を日常生活で活用できるように考えさせ、より自立した快適な暮らしを目指していく。	ICT 機器を活用し、指示を待つのではなく、自ら進んで作業を進める主体性を身につけさせる。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知識は、概ね身につけている。技能は、個人差があるため、既習事項をもとに、自分に合った内容を選択できるようにする。	より快適な具体的な例を取り上げ、実践していく。学習したことがどのように日常生活に生かされているのか考え、生活の中で実践していくよう促す。	ICT 機器を活用し、自分自身で立てた計画を随時見直しができるようにして一人ひとりが主体的に学習に取り組むことができるようにする。